

令和6年度 年間研修計画

1 研究指定教科，領域

【全教科】

○研究主題

「自らの考えをもち、表現できる児童の育成
～学びあいを生かし、思考を深める授業づくり～」

○主題設定の理由

令和5年度全国学力・学習状況調査および千葉県標準学力検査の結果より、本校では文章や資料から題意を読み取る設問や、自分の考えを文章で記述する設問での誤答率・無答率が高くなっている。児童の思考力・判断力・表現力を高めるためには、授業の中で「対話」を重視することが大切だと考えた。活動の中にペアやグループ、全体での話し合いを位置付けるなどして自他の考えを深めるとともに、アウトプットするための表現力をつけるための手立てを考えていく。

学習指導要領では、各教科等で思考力・判断力・表現力等を育成する観点から、言語活動の充実を図ることに配慮することが求められている。児童が主体的に学習に取り組もうと夢中になれる言語活動を設定することで自らの考えをもたせ、意義のある学びあいをする過程で思考力・判断力・表現力を付けていきたい。

2 研究の目標

学習のねらいを明確にしたうえで、内容や場面に応じた学びあいの方法を探っていく。
また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の在り方を考え、その過程で児童の思考力・判断力・表現力を育てていく。

3 研究の方法

- ・指導室訪問の研究授業を校内研究の公開授業とする。
これにより、全教員が年1回実施しなければならない研究授業を同時に行うこととする。
- ・仮説検証研修とし、それをもとに各教科で実践していく。
年度初めに仮説を達成するための手立てを教科ごとに設定し、日頃の授業の中で実践していく。
- ・研修日には、外部講師を招いた理論研修や、ブロック毎・教科別での指導案検討を設定する。
- ・他校の研修会に年間1回は参加して研修する。

【小中連携について】

(重点内容)

自ら課題をもち思いや考えを伝えることのできる児童生徒の育成

- ・学習指導連携6項目を意識した授業を行う。
- ・前期（小1～4）と中期（小5，6）の目標を見越して指導を行う。
- ・話しあいの方法等についての共通した指導の実践を行う。

【若年者研修】

- ・若年者研修は、別計画により授業研や理論研修など実施する。

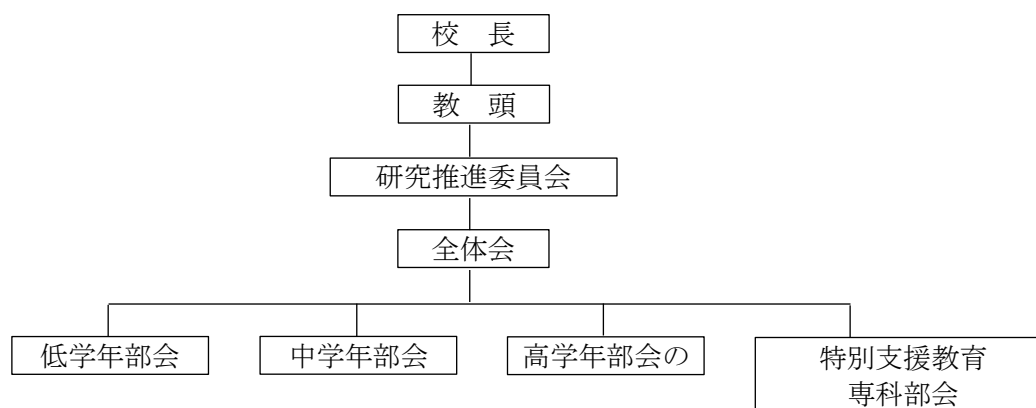
(全職員に若年者研修の内容を知らせる)

- ・教科指導だけにとどまらず、生活指導、配慮が必要な児童に対する手立てなどを共通理解する。

(場合によってはアドバイザーとなる先生方から助言していただく)

※全職員で若手を育てようとする気持ちを持ち、関わっていく。

4 研究の体制



5 研修の日程

月日	研修内容	研修方法	対象	指導者
4 / 4	研修全体計画確認	職員会議	全職員	校長，教頭
1 1	学区確認	部会・個人研修	全職員	
1 8	研究主題・仮説について（事前確認）	研究推進委員会	研推委	校長，教頭
2 5	研究主題・仮説について（全体説明） ※指導案の形式についてもここで説明	全体研修	全職員	校長，教頭
5 / 9	授業の具体的手立てについて（教科別）	部会研修	全職員	校長，教頭
1 5	理論研修	全体研修	全職員	講師
2 3	授業の具体的手立てについて（全体）	全体研修	全職員	校長，教頭
3 0	指導案作成	個人研修	全職員	校長，教頭

6 / 6 20 27	救命救急法研修 指導案検討（教科別）※1 指導案作成	全体研修 部会研修 部会・個人研修	全職員 全職員 全職員	消防署員 校長，教頭 校長，教頭
7 / 4 11	指導案検討（ブロック別①）※2 指導案検討（ブロック別②）※2	部会研修 部会研修	全職員 全職員	校長，教頭 校長，教頭
8 / 19	四中学区小中一貫教育研修会	全体研修	全職員	講師
9 / 5 12 26	指導案検討（教科別）※1 指導案検討（ブロック別①）※2 指導案検討（ブロック別②）※2	部会研修 部会・個人研修 部会・個人研修	全職員 全職員 全職員	校長，教頭 校長，教頭 校長，教頭
10 / 3 10 24 31	（※通知表等処理） （※運動会準備） （1ヶ月前に指導案を委員会へ提出） 指導案修正 授業研修会準備（※6年修学旅行）	 部会・個人研修 部会・個人研修	 全職員 全職員	 校長，教頭 校長，教頭
11 / 7 14 21 28	授業研修会準備（※5年自然教室） 授業研修会（指導室訪問） 授業研修の反省・まとめ	部会・個人研修 研究授業展開 全体研修	全職員 全職員 全職員	校長，教頭 講師 校長，教頭
12 / 4	人権研修会	全体研修	全職員	講師
1 / 9 23 30	年間指導計画の見直し 年間指導計画の見直し 研究まとめ・来年度アンケート	学年研修 学年研修 部会・個人研修	全職員 全職員	
2 / 6 20	来年度の方向について集約 学力テスト考察	研究推進委員会 学年・個人研修	研推委 全職員	校長，教頭
3 / 6	研修の反省と来年度の方向	全体・個人研修	全職員	校長，教頭

※1 教科別の指導案検討を行う際は、以下の教科ごとに合同で行うこととする。

- | | | |
|----------|-----------------|---------------|
| ①国語部会 | ④音楽・図工・家庭科部会 | ⑦総合的な学習・外国語部会 |
| ②算数・理科部会 | ⑤道徳・特別活動・特別支援部会 | |
| ③生活・社会部会 | ⑥体育部会 | |

※2 ブロック別の指導案検討は2週に分けて行う。（例：3授業×2週）

その際、専科担任は授業を実施するブロックに所属することとする。